

秋に美しく黄葉することで知られるイタヤカエデ。長さ 5-10 cmの大きな葉が水平によく繁って、雨が降っても雨宿り出来る板で葺いた屋根に例えて「板屋カエデ」と呼ばれるようになりました。「カエデ」は葉の形をカエルの手に見立てたことが語源。イタヤカエデには変種のオニイタヤやアカイタヤなどがありますが、これらを総称してイタヤカエデと呼んでいます。多くのカエデ類が葉縁に鋸歯があるのに対し、イタヤカエデは全縁なので見分けやすいです。芽吹きは4月下旬頃、超合金ロボットのような冬芽が、幾つものパーツに割れて、そのひとつひとつから黄色い花と葉っぱと一緒に出てきます。芽吹いていく様はダイナミックでほれぼれします。ちょうど県民の森に数百本植栽されているオオヤマザクラが満開の時期、その傍らでひっそりと咲く可憐な姿は、あまり気付かれることがないのですが、春を代表する美しい木の花です。初夏には若い実が出来ます。秋に茶色く熟して乾燥すると、ヘリコプターの羽のような翼を持った実は風に乘って飛んでいきます。

木材として流通しているカエデはほとんどがイタヤカエデ。木肌は白く、きめ細かくて滑らかな美しい材で、固くて弾力があるため、良材として評価が高く、家具や楽器、スキー板、フローリングなどに利用されてきました。また、東北から北海道では春先に甘い樹液を採取して、樹液を煮詰めてシロップやカエデ糖をつくり、貴重な甘味料としていました。

園内各所に植栽され、七滝登山道周辺でもよく見られるイタヤカエデ、この春はぜひ黄色い可憐な花を探してみてください。

冬芽 2/23



冬芽が開く 4/25



花 4/27



新緑 5/25



若い実 6/11



熟した実 10/27



黄葉 10/31

県民の森の野鳥たち 春は出会いのチャンスです

みずばしょう園のキセキレイ 23/4/11

芽吹きの季節。葉っぱが大きく開き始める前までは、木々の間の見通しもよく、静かにしていると活発になってきた野鳥たちとの嬉しい出会いがたくさんあります。雪融けで、地面の出てきたところに、野鳥たちが集まるのもこの時期。早朝はツグミやカラ類たちの食事中の姿を見ることが出来ます。また、「みずばしょう園」も鳥見スポットのひとつ。そっと近付くと、湿地のなかで食事中の姿に出会えます。橋の下に潜んでいるヤマドリを驚かせてしまい、「ドドドド」と、ものすごい音を立てて逃げていくこともあります。



【左】ジョウビタキ 24/5/3  
 【中】カシラダカ 24/4/22  
 【右】トラツグミ 24/4/19



ヤマドリ (雄) 23/4/11

森林ふれあい学習館 ギャラリー 展示

お問い合わせ 学習館 ☎0195-78-2092

佐々木美枝子・立柳洋子・高橋ハツ 手芸作品展 入場無料

2024年4月1日(月)～28日(日)

アメリカンフラワーやパッチワーク、トールペイントの世界に魅了されて、作品をつくり続けて数十年。岩手の美しい自然に育まれた感性が光る作品の数々をお楽しみください。



佐々木美枝子 まゆみの会代表



立柳洋子 まゆみの会所属

高橋ハツ 手芸サークル (パッチワーク) 主宰

岩手県森林公園

県民の森だより

2024. 4 Vol.219

発行 岩手県県民の森 (公益社団法人 岩手県緑化推進委員会)

【毎月5日発行】



「みんなの広場」奥より茶臼岳を望む 2023/4/20

4月下旬、岩手山や八幡平の山々がまだ残雪の頃。県民の森ではこのあたりの自生種、オオヤマザクラ(大山桜)が満開となります。園内には「みんなの広場」奥などを中心に、約300-400本が植栽され、桜と雪景色が楽しめます。一年でいちばん華やかな季節。県民の森へお花見に、どうぞお越しくださいませ。

岩手県県民の森 管理事務所

〒028-7302 岩手県八幡平市松尾寄木 1-515-5 森林ふれあい学習館フォレストアイ

TEL.0195-78-2092 FAX.0195-71-1778

開館時間：9時～16時 火曜休館(祝日の場合翌日振替)

(旧 Twitter) @forest\_iwate





## 県民の森で桜を愛でる。

残雪の山々と桜が楽しめるのは、岩手山北麓に位置する県民の森だからこそ。「みんなの広場」には、県民の森が整備される前から自生している「夫婦桜」の他に、様々な種類の桜が植栽されています。また、散策路では遅咲き自生種の変った形の桜も見られ、長い期間桜を楽しむことができます。



【夫婦桜】2023/4/20  
立派な大木が二本寄り添う姿はとても華やかです。左はカスミザクラ、右はオオヤマザクラ。どちらも自生の桜です。



【岩手山とソメイヨシノ】2023/4/27  
「みんなの広場」にはぐると様々な桜が植栽されています。ソメイシノ並木の背後には残雪の岩手山。雪と桜が楽しめます。



【カスミザクラ（霞桜）】2023/4/19  
昨年は早く咲きましたが、本来は遅咲きの自生種。白い花が霞のように見えるのが名の由来。



【オオヤマザクラ（大山桜）】2023/4/24  
花と葉と一緒に芽吹きます。県民の森で最も多く植栽されているこのあたりの自生種です。



【オオシマザクラ（大島桜）】2023/4/30  
大型の白い花はとても優雅。柔らかく芳香のすぐ新葉は、桜餅に使われることで有名です。



【ギョイコウ（御衣黄）】2023/5/11→5/21  
珍しい緑色の栽培種の桜。最初は上品な薄緑色。最終盤は赤い筋が入り艶やかな姿になります。



【カンザン（関山）】2023/5/9  
ピンクの華やかな八重桜の代表品種です。遅咲きで、新緑の園内を彩ります。



【シダレザクラ（枝垂れ桜）】2023/5/2  
栽培種。枝いっぱい花を付けて風に揺れる姿は風情があります。



【ミヤマザクラ（深山桜）】2023/5/15  
自生種。白い清楚な花が束になって付く可憐な桜です。「樹木園」で見られます。



【ウワミズザクラ（上溝桜）】2022/5/20  
自生種。試験管を洗うブラシのような花。よく見ると小さな花がたくさん付いています。



【シウリザクラ（しうり桜）】2023/6/2  
自生種。ウワミズザクラに似たブラシ型の桜。ウワミズザクラより開花は遅いです。

## 県民の森の4月の風景

雪融けした森のなか、すこしずつ木々が芽吹き始めます。静から動へ変化する季節。これから森の中は賑やかになっていきます。



【芽吹き七滝登山道】2023/4/25  
はじめにカエデ類たちが芽吹き始めます。



【芽吹き七滝】2023/4/27  
清々しい空気が流れます。



【森の大橋から見る松川の雪代】2023/4/16  
山からの雪融け水は、独特の色と激しい流れ。



【芽吹き始めたシラカンバ並木】2023/4/30  
ふんわりとした芽吹きはこの時期ならではです。



【岩手山とシデコブシ並木】2023/4/10  
桜よりひとあし早く開花します。



【みずばしょう園】2023/4/8  
学習館から歩いて5分。春の訪れを感じます。

## シウリザクラの春紅葉

芽吹いたばかりの葉は、本格的に光合成が始まり新緑になる前のごく短い間、赤や黄色の生まれたての色をしているものも多く、色とりどりの芽吹き風景を「春紅葉」と呼んでいます。なかでも鮮やかな赤で、森の中で花が咲いているかのような美しい風景を見せてくれるのがシウリザクラ。横に伸びる根からも萌芽するため、森のなかで数本がかたまってみられることが多いです。特に、逆光で透けて見える葉の輝きは非常に美しく、激しく心を揺さぶられます。園内では屋外トイレ駐車場の向かって右側の「野鳥の森」、そして七滝登山道の七滝から一服峠の間で見られる春のとおき風景です。



【シウリザクラの芽吹き】  
2023/4/9



【根から萌芽する様子】2023/4/24



【シウリザクラの春紅葉 2023/4/23】

## 木々の芽吹きを楽しむ

早春にいち早く芽吹くニフトコから、5月に入ってからようやく芽が割れるクサギやキハダなど、様々な木々が順番に芽吹いていきます。木々の芽吹きを追う楽しみを知ると毎日が忙しくて、気が付くと初夏。エゾハルゼミが鳴き始めます。



【ハウチワカエデ】2023/4/17

紅い花と葉と一緒に芽吹きます。新葉は産毛に包まれて、天使の羽のよう。非常に美しい芽吹きです。



【トチノキ】2023/4/21

テカテカの樹脂に守られた大きな冬芽が割れると、まだベトベトしている新葉や花芽が出てきます。ダイナミックな芽吹きです。



【ニフトコ】2023/4/11

真っ先に芽吹く木のひとつ。早春に折り畳まれていた複葉が出てくる様は力強さを感じます。花芽も入っている混芽はぶつくらしています。